

循環型社会形成推進基本計画

「循環型社会形成のための数値目標」の進捗状況に係る参照資料

1	物質フロー及び物質フロー指標	1
2	循環型社会形成にむけた意識・行動の変化	7
3	廃棄物等の減量化	10
4	循環型社会ビジネスの推進（グリーン購入の推進（地方公共団体）	13
5	循環型社会ビジネスの推進（グリーン購入の推進（企業）・環境経営の推進	15
6	循環型社会ビジネスの推進（循環型社会ビジネス市場の拡大）	18

## 指標例に係る取組の進捗状況調査票（様式3）

府 省 名 農林水産省

関係府省名 財務省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省 環境省

1.業種・品目等の名称：27食品循環資源の再生利用等を実施すべき量に関する目標
2.取組の概要 ・食品リサイクル法に規定する目標（個々の食品関連事業者の食品循環資源の再生利用等の実施率を平成18年度までに20パーセントまでに向上。）を実現するため、セミナーの開催、パンフレットの配布等による法律の普及啓発を実施し、着実な施行を図る。また、食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律第10条に基づく登録再生利用事業者を40事業者登録（平成16年3月末現在）
3.進捗状況 ・食品廃棄物の再生利用等の実施率（平成15年度実績。発生抑制分については14年度実績を加算） 食品製造業 71% 食品卸売業 46% 食品小売業 26% 外食産業 19% 食品産業合計 45%
4.今後の課題・見直しの方向性 ・食品リサイクル法に基づく基本方針の見直し等を平成18年度末までに実施。

## 指標例に係る取組の進捗状況調査票（様式3）

府省名                     国土交通省                    

関係府省名           環境省、農林水産省、経済産業省                    

1.業種・品目等の名称： 28．特定建設資材廃棄物の再資源化等に関する目標
2.取組の概要
<p>平成22年度における特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、建設発生木材及びアスファルト・コンクリート塊）の再資源化等率を95%ととする。特に、国の直轄事業においては、特定建設資材廃棄物について、平成17年度までに最終処分する量をゼロにすることを目指す。</p>
3. 進捗状況
<p>&lt; 特定建設資材廃棄物（全体）の再資源化等率 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート塊                               98%（H14）</li> <li>・建設発生木材                                 89%（H14）</li> <li>・アスファルト・コンクリート塊       99%（H14）</li> </ul> <p>&lt; 特定建設資材廃棄物（国の直轄事業）の再資源化率 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート塊                               97%（H14）</li> <li>・建設発生木材                                 71%（H14）</li> <li>・アスファルト・コンクリート塊       99%（H14）</li> </ul>
4.今後の課題・見直しの方向性
<p>コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊については、平成14年度の実績でいづれも高い再資源化率となっているものの、更なる向上への取組が必要となっている。また、建設発生木材についてはさらなる取組が求められている。</p>

## 指標例に係る取組の進捗状況調査票（様式 3）

府省名                          国土交通省  
 関係府省名                         

1.業種・品目等の名称： 29 . 建設リサイクル推進計画の目標																										
2.取組の概要																										
<p>「建設リサイクル推進計画2002」において平成22年度の目標値、及び当面平成17年度末までに達成すべき目標値を定め、各種施策を実施している。</p> <p>&lt;再資源化率&gt;</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・アスファルト・コンクリート塊</td> <td style="width: 33%;">98%以上（H17）</td> <td style="width: 33%;">98%以上（H22）</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート塊</td> <td>96%以上（H17）</td> <td>96%以上（H22）</td> </tr> <tr> <td>・建設発生木材</td> <td>60%（H17）</td> <td>65%（H22）</td> </tr> </table> <p>&lt;再資源化・縮減率&gt;</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・建設発生木材</td> <td style="width: 33%;">90%（H17）</td> <td style="width: 33%;">95%（H22）</td> </tr> <tr> <td>・建設汚泥</td> <td>60%（H17）</td> <td>75%（H22）</td> </tr> <tr> <td>・建設混合廃棄物</td> <td>H12 排出量に対して 25%削減</td> <td>H12 排出量に対して 50%削減</td> </tr> <tr> <td>・建設廃棄物全体</td> <td>88%（H17）</td> <td>91%（H22）</td> </tr> </table> <p>&lt;利用土砂の建設発生土利用率&gt;</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・建設発生土</td> <td style="width: 33%;">75%（H17）</td> <td style="width: 33%;">90%（H22）</td> </tr> </table>			・アスファルト・コンクリート塊	98%以上（H17）	98%以上（H22）	・コンクリート塊	96%以上（H17）	96%以上（H22）	・建設発生木材	60%（H17）	65%（H22）	・建設発生木材	90%（H17）	95%（H22）	・建設汚泥	60%（H17）	75%（H22）	・建設混合廃棄物	H12 排出量に対して 25%削減	H12 排出量に対して 50%削減	・建設廃棄物全体	88%（H17）	91%（H22）	・建設発生土	75%（H17）	90%（H22）
・アスファルト・コンクリート塊	98%以上（H17）	98%以上（H22）																								
・コンクリート塊	96%以上（H17）	96%以上（H22）																								
・建設発生木材	60%（H17）	65%（H22）																								
・建設発生木材	90%（H17）	95%（H22）																								
・建設汚泥	60%（H17）	75%（H22）																								
・建設混合廃棄物	H12 排出量に対して 25%削減	H12 排出量に対して 50%削減																								
・建設廃棄物全体	88%（H17）	91%（H22）																								
・建設発生土	75%（H17）	90%（H22）																								
3. 進捗状況																										
<p>&lt;再資源化率&gt;</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・アスファルト・コンクリート塊</td> <td style="width: 33%;">99%（H14）</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート塊</td> <td>98%（H14）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設発生木材</td> <td>61%（H14）</td> <td></td> </tr> </table> <p>&lt;再資源化・縮減率&gt;</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・建設発生木材</td> <td style="width: 33%;">89%（H14）</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>・建設汚泥</td> <td>69%（H14）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設混合廃棄物</td> <td>H12 排出量に対して 31%削減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・建設廃棄物全体</td> <td>92%（H14）</td> <td></td> </tr> </table> <p>&lt;利用土砂の建設発生土利用率&gt;</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・建設発生土</td> <td style="width: 33%;">65%（H14）</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> </table>			・アスファルト・コンクリート塊	99%（H14）		・コンクリート塊	98%（H14）		・建設発生木材	61%（H14）		・建設発生木材	89%（H14）		・建設汚泥	69%（H14）		・建設混合廃棄物	H12 排出量に対して 31%削減		・建設廃棄物全体	92%（H14）		・建設発生土	65%（H14）	
・アスファルト・コンクリート塊	99%（H14）																									
・コンクリート塊	98%（H14）																									
・建設発生木材	61%（H14）																									
・建設発生木材	89%（H14）																									
・建設汚泥	69%（H14）																									
・建設混合廃棄物	H12 排出量に対して 31%削減																									
・建設廃棄物全体	92%（H14）																									
・建設発生土	65%（H14）																									
4.今後の課題・見直しの方向性																										
<p>コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊については、平成14年度の実績でいづれも高い再資源化率となっているものの、今後はその維持が課題となっている。また、建設発生木材や建設汚泥、建設混合廃棄物については、さらなる取組みが求められている。建設発生土については、平成15年10月に策定した「建設発生土等の有効利用に関する行動計画」に掲げる各種施策を着実に実施する。</p>																										